

## 編輯後記

◇本學會創立六年目を迎へ、會則の一部の變更を見まして、會報も二度の發行となりました。これは、本學會躍進の一轉機を示すものと思ひ、我々の喜びに堪へない所であります。

◇時恰も、國家非常時局に際會し、東洋の二大民族が干戈を交へて居ります。斯文を奉じ、斯學を對象とする本學會の使命愈々倍加する時であります。この時に當つて、本年度前半に於ける會員の成果を收め、第六號を發刊することの出来ましたことは意義あることと存じます。

◇本號編輯に當りましては、諸橋先生の書によつて、卷頭を飾ることが出来ましたことを、望外の喜びとする所であります。此の書は、先生が今春宮中に御奉仕された際の詩であります。特に我々の請を入れて、研究室の爲に掲げられたものであります。同先生及び竹田先生、内野、石島、寺岡諸先輩が、御多忙中にも拘はらず、特に玉稿を賜はりましたことを、厚く御禮申し上げます。又、上原、土肥兩君が過日の研究發表を掲載し下さつたことを幸とします。最後に、編輯者の不馴れの爲、發刊が遅れ、種々不備の點あるを御詫び申し上げます。最後に會員御一同の健康と發展とを御祈り申し上げます。

(昭一・一・一〇・二〇)

## 漢文學會々報 第六號

昭和十二年十一月一日 印刷

昭和十二年十一月五日 發行

【非賣品】

東京文理科大學 漢文學會

編輯者 上 島 一 夫

東京市小石川區表町一〇八

印刷所 山 光 社 印刷所

東京市小石川區表町一〇八

印刷者 山 川 宗 一

東京市小石川區大塚窪町

發行所 東京文理科大學漢文學會

## 東京文理科大學漢文學會會則

- 一、本會ハ東京文理科大學漢文學會ト稱シ、事務所ヲ東京文理科大學漢文學研究室內ニ置ク
- 二、本會ハ漢文學ノ研究及ビ普及ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 三、本會ノ會員ハ左ノ人々ヲ以テ組織ス
  - 1 東京文理科大學及ビ東京高等師範學校漢文學科關係ノ教官ニ講師
  - 2 東京文理科大學漢文學科生及ビ卒業生
  - 3 東京高等師範學校文科第二部(國漢)生徒及ビ卒業生中漢文研究ニ篤志ナル者
  - 4 其ノ他ノ漢文學研究ニ篤志ナル者
- 四、本會ノ主ナル事業左ノ如シ
  - 1 研究發表會
  - 2 講演會
  - 3 研究旅行
  - 4 雜誌發行
  - 5 其ノ他必要ナル事項
- 五、本會ニ左ノ役員ヲ置ク
  - 1 會長一名
  - 2 顧問若干名
- 六、會長ハ本會ヲ代表シ、會務ヲ總理ス  
顧問ハ會長ノ諮詢ニ應ズ  
評議員ハ評議員會ヲ組織ス  
評議員會ハ會長之ヲ召集シ、重要ナル會務ヲ議ス  
會長ノ委囑ニヨリ評議員中一名ヲ會計監督トス  
委員ハ會長ノ指示ヲ受ケ、會ノ研究、會計、編輯ノ事務ヲ分擔ス
- 七、會長ニハ東京文理科大學漢文學科主任教授ヲ推ス  
評議員ハ東京文理科大學並ニ東京高等師範學校漢文學科關係ノ教官講師及ビ其ノ他ニツキテ會長之ヲ委囑ス  
顧問ハ評議員會ニテ之ヲ推薦ス  
委員ハ東京文理科大學漢文科學生中ヨリ六名、其ノ他ヨリ四名、會員ノ互選ニヨリテ選出シ其任期ヲ一ケ年トス、但シ重任ヲ妨ゲズ
- 八、本會會則ノ變更ハ評議員會ノ議決ヲ經ベキモノトス
- 九、會員ハ會費年額二圓ヲ納ムベキモノトス

以上